

We're Growing Up

3学年通信

3月・最終号 2023/3/17



とうとうこの日がやってきました。1期生のみんな、卒業おめでとう。

1期生の中学校生活の船出はたいへんな荒波の中でしたね。休校、オンライン授業、新しい学校にやってきたのに、クラスメイトや先生と直接会えない……。クラス合宿など、中止となった行事もありました。1期生のみんなができなかった行事を2期生、3期生の後輩たちが楽しそうに行っているのを、うらやましく思ったり、悔しく思ったりもしましたね。

そんな中、みんなは少しずつ、そして大胆に、この附属中学校の「初めて」を作り上げてきました。いまや公式キャラクターとなった「だてまる」を創り出したこともそうですし、中学校の部活動や委員会活動などすべてが「初めて」だったのですが、最も印象深く思い出されるのは、1年生の終わりの「入学予定者説明会」です。後輩を歓迎する気持ちにあふれていた、ビブリオバトルや英語でのプレゼンテーション。先輩たちに囲まれて、2期生たちはどんなにワクワクしたことでしょう。

そして2年生の夏には、「学校説明会」もみんなの力で行われました。短い準備期間であったにも関わらず、たくさんの面白いアイデアが出て、あっという間に練り上げられました。先生方から厳しい意見をもらいながらも、当日には立派なものに仕上げ、堂々と発表していましたね。あの一連の光景を思い出すと、今でも胸が熱くなります。



この2つはどちらも、今では附属中生にとって重要な行事となりました。1期生のみんなによる館一附属中の伝統の始まりはどこかといったら、この2つに違いない、と私は思います。

探究活動も、これからの館一附属中の伝統になっていくことでしょう。みんなから出てくるアイデアは、とても面白かったです。もちろん甘いところはたくさんあったので、ダメ出した数も多かったですが（ごめんね）。某班では、先生たちを追い越して事後報告でいろいろなことが進んでいたりして大慌てしたのも、今となっては……。いや、やっぱりどうかな（汗）。でも、その実行力を実に頼もしく、うらやましくさえ思ったものです。

一方で、探究がなかなかうまくいかずに苦しい思いをした人もいました。本当に大変だったと思いますが、よく言われるように「ピンチはチャンス」。あの数々の場面を耐え忍び、最後までがんばりきったあなたには、確かな力が息づき始めています。がんばった自分を誇ってください。





思い返すと、「これやりたい!」「これ面白そう!」とスイッチが入ったときのみんなの**発想力と行動力、そして本番の強さ**には、いつも驚かされてきました。その力を高校ではもっと発揮してほしいですし、もっともっと磨いてほしいと願います。

なお、興味関心がまだハッキリしていない人は、積極的にたくさんの方に触れていきましょう。物事の本当の面白さは表面から一歩も二歩も踏み込んだところにあるものなので、苦勞することもあるでしょう。しかし、その壁を越えて「もう一歩奥に何かがあるか」を知り、その面白さを知り、「これについてもっと知りたい」「これに関わっていきたい」と本気で思ったなら——そのときこそ、あなたの真価が開くときです。そうなったときのみんなの躍進を想像するだけで、私はワクワクしてしまいます。

近年はコロナ禍や戦争など、数年前には思いもよらなかったことが起き、私たちの生活を変えていっています。数年後、やはり現時点では想像もできていないようなことが間違いなく起こるでしょう。

そんな世界の中で、**みなさんが自分らしく、自分の思いを通して生きていこうとするならば、いろいろな力が必要です。**

その力を、4月からの高校生活でさらに磨き上げていってください。あなたの中にある発想力と実行力、そしてそれ以外のさまざまな「種」に、水をやり栄養をやり、大切に育てて、あなただけの花を咲かせてください。そのために、「**これやりたい!**」を見つけ、**大切にしてください。**



何事も、「こうしたい」「こうなりたい」という意志があつてこそ、それを現実にするための努力ができ、実現させることができます。実はその努力の中でこそ、「**自分の想像を超える自分に出会う**」ことができるのです。1期生の全員はその努力ができる人で、さらに、嫉妬したくなるほどのポテンシャルをまだまだ秘めています。

もし、やってみたいことが一人ではできないことだったとしても、大丈夫。みんなには、他ではできない唯一無二の体験と苦樂を共にしてきた1期生という「最強」の仲間がいます。そして、もうすぐ出会う新たな仲間もいます。**そんな仲間を支え、そしてあなたも支えられてください。**互いに協力し合うことで、実現できることはどんどん増えます。一人でやるよりも、ずっと面白いことになっていきますよ。



「これやりたい!」をもう見つけた人も、まだまだこれからの人も、迷っている人も。高校で増える仲間たちとともに切磋琢磨し、さらなる「自分の想像を超える自分」に出会ってください。

遠回りでも迷い道でも、藪の中でも暗闇の中でも、あなたの意志と願いがあれば、必ず道を切り拓いていくことができますから。

Where there's a will, there's a way.

(意志あるところに道は開ける)